

第10回 伊吹山中学区の在宅医療カフェ(意見交換会)のまとめ 参加者29人(地域住民14人・医療福祉行政関係者15人)

1G		2G	3G	4G
目標	地域の交流を活発にする	笑顔で地域が触れ合う町を作ろう	皆が元気で明るい地域	人生の最終段階！ 本人も家族も悔いが残らない為に
タイトル (方法)	交流生活の場づくり	地域活動への参加	相談支援(困りごとを聞く)	家族間で話し合い
	地域のイベントに参加	声掛け、挨拶	見守り(誘い合う)	本人の思いを尊重
	高齢男性の活動参加	人との交流	繋がり(交流・挨拶・コーヒープレイク)	地域の繋がり(支援体制)
	若者は地元のことを知らず、知る機会	趣味を広げる	趣味を持つ	エンディングノートの活用
	男性の役割・・・いつまでも主役で	健康のための体づくり	健康体操	かかりつけ医を持つ
	世代間交流の場づくり	笑顔で元気	交流の場づくり	終末期医療の学習
	地域が1つの家族に	気遣いのない家族関係	役割を持つ・・・生きがい	専門職の意見を聞く
	子供のこと			
スロー	地域内の活動を再生しよう	笑顔で膨らむ人の輪	声掛け合って温もりのある町づくり	話し合いで合意しよう！
～全体を整理すると～				
方法 (具体策)	1、活動の場を設定する	集まる場所を作る(開所)・町づくり実行委員会・サロン・夏祭り・運動会・料理教室		
	2、社会活動に参加(特に男性)する	健康体操・体づくり・健康チェック(食事など)・イベント・行事・ボランティアに参加・シルバー事業所・社会に関心をもつ・趣味を活かす・役割(得意分野)を活かす・誘い合う		
	3、人との交流(世代間交流)を図る	挨拶・声掛け・相談支援・みんなで考える・コーヒープレイク(おしゃべり)・1人で悩まない、閉じこもらない・独居者の訪問・偽家族関係(高齢者シルバーと子供)		
	4、人生の最終段階の医療を意思決定する	エンディングについて家族との話し合い合意形成・本人の意見を尊重・地域で学習会(専門職)・かかりつけ医を持つ・地域支援(近所)・エンディングノートの活用・揉めないように遠方の親戚にも意思を伝えておく		
～あとがき～ 稲刈りや中学校の運動会などイベントが集中する中、お忙しい所をご参加頂きましてありがとうございます。高齢社会の問題や交わりの希薄について「どうすればよいか」と皆さんで話し合ってもらった所、4Gの内3Gが地域交流を目標に掲げられ、その方法(手段)には「活動の場作り」や「活動への積極的な参加」「役割を持つこと」など。また、「人生の最終段階の医療」についても、話し合いで家族間の合意形成をしておく事の大切さを発表して頂きました。どの地域でも男性の参加者が少ないのですが、今回は男性の参加が多く、すでに自発的な地域活動をされている事から、山東伊吹地域の男子力(住民力)を感じました。何よりも、地域を愛し皆でこの地域を守っていこうとする意識が、話し合う中で強く感じられ頼もしく思っています。このように年代や職種を越えて、顔を寄せ合い、話し合う事で、より一層、暮らしやすい地域になっていくと思います。地域の皆様と有意義な話し合いができました事を大変うれしく思っています。今後とも宜しくお願いします。				
長浜米原地域医療支援センター 今井・池野				